

東京都立葛西南高等学校(定時制)

【校長】 関山 勝之
【生徒数】 59名
【学級数】 4学級



【課題・改善】

○ 学んだ知識を生かし、自らの健康課題を解決する力を身に付けることが課題であった。

【今後の取組】

○ 今後、学校全体で、教科横断的な取組を一層推進し、健康教育の充実を図っていく。

【実態・課題】

・ アルバイト等が理由で睡眠が不足することや、深夜にゲームに没頭することで登校時刻に間に合わず、遅刻や欠席が続いてしまうことがある。

また、円滑な人間関係を構築する必要がある。

⇒規則正しい生活習慣やストレスとの向き方について、理解できるようにすることが課題である。

目標

・ 自らの健康への意識を高め、生涯健康を保持増進できる資質・能力の育成

【成果】

○ **生徒の意識に関する成果**
生涯を通じる健康や、家族計画などについて意識をもつことができた。

○ **生徒の態度に関する成果**
性と健康との関わり方について考える態度が見られた。

○ **その他(教員の授業改善など)**
科目保健や家庭科、特別活動での教科横断的な取組を推進することができた。

【取組】

○ **科目保健における健康に関わる授業**
産婦人科医の講演会に向けて、健康に関する基本的な知識を学習するとともに、自身の健康について考える。

また、ストレスの対処方法などについて生徒の実態に合った事例などを取り上げ、学びを深める。

○ **産婦人科医を招へいした授業の実施**
産婦人科医を招へいし、医療現場の実態を踏まえて医師から生涯の健康について講演していただき、生徒が自身の健康について理解を深める。

【取組(詳細)】

○ 科目保健における健康に関わる授業

生涯の健康に関する理解促進について、以下のとおり実施した。

- ・ 喫煙・飲酒・薬物乱用が健康に与える影響について説明した。特に、薬物乱用については、授業だけでなく薬物乱用防止教室での指導も含めて理解が深まるようにした。
- ・ また、妊娠・出産については、指導内容について家庭総合との連携も図りながら実施した。



科目保健の授業の様子

○ LGBT研修の実施

LGBTに関する校内研修会を実施した。

- ・ 研修会のテーマは「性別でみる多様性と人権」とした。
- ・ LGBTの当事者である講師の話聞くことにより、当事者の現状を理解することができた。
- ・ 研修後に、教員間で生徒への接し方や学校内での配慮などについて話し合い、組織的な活動に向けて検討を開始した。
- ・ 多様性を認めることの大切さを再認識することができ、生徒の生涯の健康や、人権に関わることへの理解を促進することができた。

○ 産婦人科医を招へいした授業の実施

これからの人生を自分らしく「生きる」ために知っておきたい性の知識をテーマに授業を実施した。

- ・ 性の知識を中心に、心身の理解、生涯のパートナーなどについて講義をしていただいた。
- ・ 生徒は静かに聞いていた。
- ・ 専門家が話すことにより、生徒に伝わりやすい講義になった。



<公開授業の様子>
参観者：10名
(外部からの参加：5名)